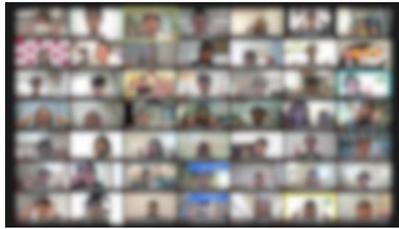




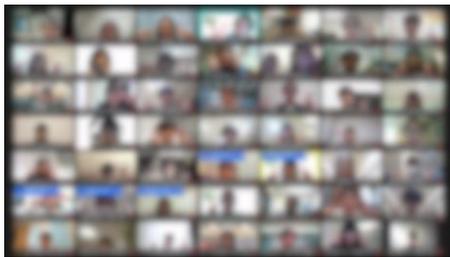
# かんきよ～ずミーティング #2



## 概要

日時：10月12日(木)18:00～20:00

場所：オンライン会議ツール(Zoom)



## 参加者

会員生協54名

BK事務局(18)運営 (4)

公立はこだて未来大 (4) 岩手大(1)東北学院大 (8) 宮城教育大(1)宮城大(1)宇都宮大(1)愛知県公立大(2)愛知教育大(2)日本福祉大(2)岐阜大(1)三重短期大(2)富山県立大(1)近畿大(2)岡山大(2)

下関市立大(1)鳥取大(2)松山大(1)愛媛大学生協(15)徳島大(2)APU(4)

東北BK事務局(3)東京BK事務局(4)東海BK事務局(3)中四BK事務局(3)九州BK事務局 (1)



## セミナーテーマ、獲得目標

### 大学生協にひろげる・大学生協から広がるエコな未来

～ぴよんと飛び越える環境活動のハードル！～

### かんきよ～ずミーティング2023 獲得目標

大学生協で行われてる環境活動やその現状について知り、いま私たちにできることが何かを考えられる。

大学生協に、環境に配慮した身近な取り組みがあることを実感し、参加者自身が行動に移していくことができる。

大学生協で環境活動を行う意義を理解し、大学生協として具体的な行動に繋がられる。

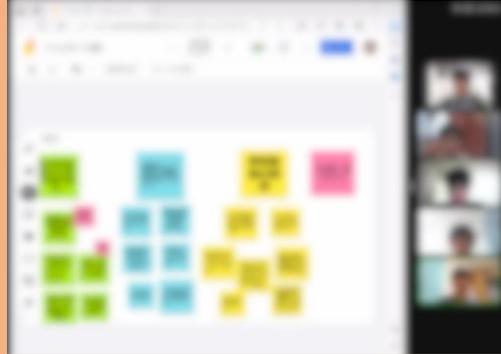




# かんきよ～ずミーティング #2

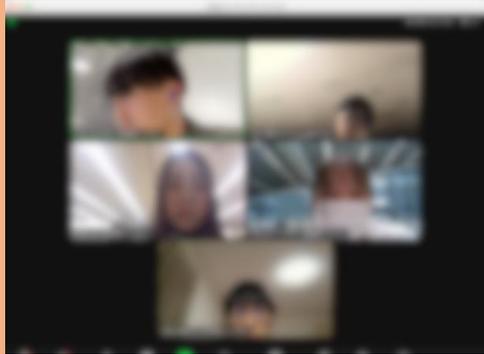
## 【GW1】学んだこと・今やっていることを共有しよう

企画1では事前動画の事例をもとに感想を交流しました。大学生協をフィールドに、ゼミや総代と協力しながら社会的課題の活動を行うことができるということを共有しあうことができました。また、事例を知って交流することで、考えや知識を深めることができました。自信が今感じている問題意識やフードロス問題に関して知っていることを共有することで、参加者同士の学び合いや深掘りにもつながりました。



フードロスを減らすためにどのような企画をしているかを知ることが出来た。また、個人でもどのような取り組みができるかを改めて考えるいい機会になった。

## 【GW2】各々の目線に立って、環境活動と向き合う

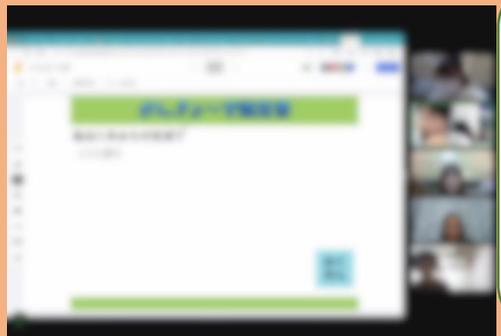


学生委員内でフードロス削減の意識を高め、その大学らしい学生にでもできるようなフードロス削減の企画を考えたい。

アンケートの結果から、組合員がフードロス問題に対して積極的に参加しやすい環境を整えることが重要であるという声が挙げられました。また、啓発活動には視覚的なインパクトが不可欠です。提案されたポスターの制作や、SNSを活用した情報発信は、より多くの組合員の目に留まることで、意識改革のきっかけを作り出すことが期待されます。これらのツールを駆使し、フードロス削減のメッセージを効果的に伝える工夫を凝らしていきたいです。

## 【GW3】みんなのかんきよ～ず議定書

企画3では組合員組織である大学生協の一員であるということを改めて考え、まずは自分からよりよい生活を目指して行動計画を考えてもらいました。協同組合という組織で一人一人の取り組みを拡げる中で共通のニーズを見つけさらに組合員活動につなげてもらうために設定しました。自大学での推進持ち帰りのためにも何をどう伝えるかという点について洗い出してもらいました。



食材を最大限に使う。普段食べない弁当の種類を食べてみる。食べ物を残そうとしている友達に話をしてみる。





# 皆様のかんきよ～ず議定書を一部抜粋！

## かんきよ～ず議定書

私はこれからの生活で

手前取りを意識してこなかったのが、意識して行動します。

また、環境について具体的に考えてこなかった（プラ削減や省エネなどバツと言葉がでてこなかった...）ことが分かったので、良い面悪い面を含め考えてみようと思います。

周りも巻き込みたいけど、まずは自分からですね～（>\_<）

周りを巻き込む前に自分から行動するというのはいい心がけですね！

自分がおこなった環境がきっかけとなって知識や理解が深まるといいですね！まずはたまえどりからやっていきましょう！！

## かんきよ～ず議定書

私はこれからの生活で

いままでもそうしてたけど  
値引き商品を優先的に購入します。

いままでもそうしてたけど  
ピーマンは種も食べ、茄子はへたまで調理します。

ピーマンの種はピザにかけて美味しいよ。

新しいこととしては小さい調味料を買います。

値引き商品は賞味期限が近いものが多いので、買うことはロス削減につながりますね！

ピーマンの種はピザにかけて美味しいというのは知りませんでした！生活の知恵が食品ロス削減につながっていきますね！！



## 【+a】感想

生活の中でフードロスについて考える機会を増やしていきたいと思います。組合員が当事者意識を持つことが大事だということを積極的に発信していきたいと思います。

自分たちの力でも課題解決に貢献できる！という意識を持って、自分たちに出来ることを考えて行く。まずは現状の共有が必要だと思う。

これからの生活で身近にできるフードロス対策を調べて実践したり、料理をする際にできるだけ捨てる部分を少なくしたりする。そして、組合員の方々に自大学のフードロスの現状と対策を考えてもらい、社会問題を身近なものとして考えてもらいたいし、自分でもできるんだという達成感を味わってほしい。

